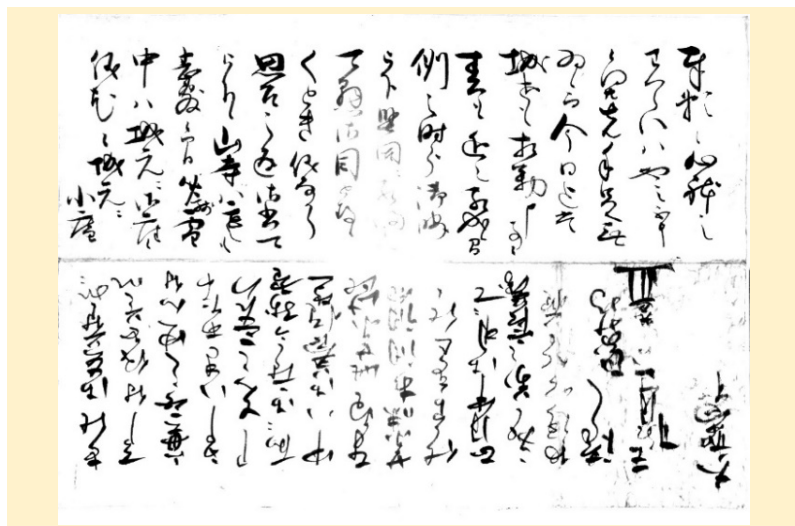


# 松平光通と大安寺大愚

臨濟宗妙心寺派大安寺は、福井藩 4 代藩主松平光通の発願により、臨濟禅の復興運動に尽力した大愚宗築<sup>たいぐそうちく</sup>（1584-1669）を開山として 1655 年（明暦元）に創建されました。光通の死後、大安寺は福井松平家の菩提寺とされ、光通の院号は大安院とされました。

このような経緯から、大安寺文書には福井藩や光通と大安寺の緊密な関係を示す資料が含まれ、光通が開山の大愚和尚に宛てた書状が複数残されています。

写真は 1658 年（万治元）12 月、高齢の大愚に対し寒さの厳しい雪中は城下で過ごすことを勧め、病気の大愚のために調合薬を贈ることを自ら述べているもので、和尚を気遣う内容の光通書状です。藩主光通の一面とともに、両者の深い交流が窺えます。



大安寺文書「松平光通書状（万治元年 12 月付）」(A0036-00021)